



題 字 和泉 哲章

(新潟県書道教育研究会理事 新潟市立白南中学校長)

NO. 5 令和5年7月10日(月)

発行 新潟県NIE推進協議会事務局



Newspaper in Education

## NIEに取り組める教員の養成

新潟大学教育学部 教授 足立幸子

多くの方が指摘するように、新聞活用教育（NIE）には、様々な魅力と可能性があります。第6次学校図書館図書整備等5か年計画では、学校図書館への新聞の複数紙配備（公立小学校等：1校あたり2紙、公立中学校等：1校あたり3紙、公立高等学校等：1校あたり5紙を目安）に190億円を投じています。環境が整いつつある中で、重要なのはNIEに取り組める教員の養成であると考え、私も積極的にNIEを教育学部の科目の中で扱うようにしています。



先週は、「国語科教育法（中等）Ⅲ」という中学校・高等学校の国語の教員免許を取得するための科目で、学生が提案するNIEの模擬授業が行われました。場面は、高等学校の「現代の国語」という科目、生徒は高校1年生という設定です。チャットGPTへの期待や懸念、取扱いについての各大学の対応を記した記事を3種類読ませ、自分が学校でのチャットGPTの取り扱いに関する指針を作るとしたらどうするかを考えさせるというものでした。なかなか面白い模擬授業でしたが、模擬生徒を演じた学生の中から、高校1年生に指針を作るとしたらどうするかを考えさせるのは難しすぎるので、自分としてはチャットGPTなどの生成AIをどう使っていきたいと考えさせるのがよいのではないかという意見が出ていました。このように、学生が教員養成の段階で、NIEの方法について学ぶことが大切だと考えています。

より体系的には、新潟大学教育学部の課程共通科目「新聞活用教育（NIE）演習」を、社会科教育学がご専門の釜本健司先生とともに担当しています。この科目は新潟日報の寄附講座ということもあり、新潟日報の方が「新聞理解」の講義をしてくださり、新潟県NIE推進協議会の先生方が「教育と新聞」の講義をしてくださり、学生は最後自分たちでNIEの授業を構想し、模擬授業を行うという充実した内容になっています。受講しているのは様々な専修の学生で、実に多様な切り口で新聞を捉え、小中学校の様々な教科の中での新聞活用を提案します。このように新聞の特性を知り、それぞれの教科の中で新聞を用いた単発の授業を構想できるようになることは大事ですが、さらに踏み込んで日常的に児童・生徒が新聞に触れるような状況を学校で作り出せるようになるためには、教員養成としては何ができるのかを考えていきたいと思えます。

## GIGA スクールと NIE の実践化 ～情報交換会～



2023年度の情報交換会が、5月31日午後メディアシップ日報ホールで開催された。学校や行政の教育関係者や新聞・通信社の代表ら65名が参加し、本県NIEにおけるGIGAスクールとNIEの実践化について意見を交わした。

新潟県の長谷川雅一教育次長は、「新聞のもつ正確性を重視し、ICTとNIEを組み合わせ、児童生徒の主体的・対話的で深い学びの実現を目指す」と、新潟市の池田浩教育次長は「新聞の信頼性、網羅性をいかし、子どもたちが論理的に考えて、適切に表現する力を育むことが大切だ」と挨拶した。

新聞の信頼性、網羅性をいかし、子どもたちが論理的に考えて、適切に表現する力を育むことが大切だ」と挨拶した。

全体会では、新潟大学附属長岡小学校の関慎太郎NIEアドバイザーと、小千谷市立小千谷中学校の井上北斗NIEアドバイザーが自校における「新聞記事データベース」を活用した実践について報告した。参加者からは「ICTやデジタルの活用によって、改めて紙の新聞の良さや価値に気づかされた」といった声があがった。この他、新潟県図書館協議会（金子淳嗣会長）や新潟県高等学校文化部連盟新聞専門部（諸橋孝二部長）の取り組みも紹介された。

NIE 伊藤充会長は、「時代の変化に対応した新しい NIE を構築するために、関係者の英知を集めたい」と結んだ。

## 現代社会と自分を切り結ぶ - G7 を教材に -

先進7か国首脳会議（G7 広島サミット）が開催された5月19日（木）、小千谷市立小千谷中学校（若林靖人校長）で、井上北斗教諭（NIEアドバイザー）が、1年生の社会科・世界地理で授業を公開した。

生徒は G7 関連の記事を読んで会議の概要を把握するとともに、各国の首都の位置を地図で確かめて気候帯の共通点を見出し、先進国が温帯に集中している理由を自然や社会、歴史的条件から考察していった。



6月8日（木）、新潟大学長岡附属小学校（山崎勝之校長）で、関慎太郎指導教諭（NIEアドバイザー）が、6年生社会科で授業を公開した。

前時で、新聞記事を基に主に新潟市で開かれた G7 財務省・中央銀行総裁会議で話し合われた内容を把握した。本時では、G7 首脳が広島原爆資料館を訪問した記事や、岸田総理大臣の記者会見の記事から知り得た情報を基に、G7 サミットの今日的な意義について考えを交流した。

6月14日（水）新潟県立新発田商業高等学校（須戸修校長）で、蟻塚幸子教諭（NIEアドバイザー）が、3年生商業・総合実践の授業を公開した。

新潟市で開かれた G7 財務大臣・中央銀行総裁会議の新聞記事等を基に、会合の目的や経済の動きを世界・日本・新潟の枠組みで把握し、そこで気づいたことや考えたことをレポートにまとめたり、ロイロノートに書き留めたりして、自分と経済のつながりを捉えていった。



## 第30回 NIE 新聞記事感想文コンクール作品募集！

新潟県新聞活用教育(NIE)推進協議会では、今年度も小学校、中学校、中高一貫教育学校、高等学校、特別支援学校の児童生徒を対象に、新聞にちなんだ感想文を募集しています。新聞記事を読んで、記事を選んだ理由や記事から考えさせられたこと、記事と自分の経験とのかかわりなど、これからの生活などについて書いてください。字数は600字～800字までです。**応募〆切は9月4日（月）事務局（津野）必着。**詳しい内容や用紙は新潟県 NIE 推進協議会の HP で確認してください。夏休みの自主課題等でたくさんのご応募をお待ちしています！



# 関東甲信越静ブロック NIE アドバイザー・NIE 推進協議会事務局長会議



＜グループ討議の内容を発表する押木 NIE アドバイザー（中央）＞

グループ討議等が活発に行われた。事務局長は、各々協議会運営に関する課題と展望について情報や意見を交わした。関口修司新聞協会 NIE コーディネーターは、「今、求められている個別最適な学びに新聞を上手に活用して欲しい」とまとめた。押木 NIE アドバイザーは、「ニュースパーク尾高泉館長の『メディアと多様性、の論じ方』という講演を聞き、ディスカッションをし、時代と共に情報発信者も受容者も変化していることを痛感しました」と感想を寄せた。

6月17日（土）横浜市のニュースパーク（日本新聞博物館）で、関東甲信越静ブロック NIE アドバイザー・NIE 推進協議会事務局長会議が行われ、本県からは三条高等学校の押木和子 NIE アドバイザーと、事務局長の津野庄一郎の2名が参加した。尾高泉館長の講演及び企画展示の解説、「新聞から考える社会の多様性」をテーマとした

## 授業で学ぶ - 2023年 新潟県 NIE 実践・研究委嘱校 -

＜継続（2022・2023年度）＞

	校長	NIE 担当者	研究会（授業公開）
長岡市立越路小学校	栗林 一志	坂井 一	11月14日（火）
胎内市立胎内小学校	佐藤 健	新野 真希	11月17日（金）
新潟市立松浜小学校	小坂井秀行	加藤 雅晃	11月22日（水）
柏崎市立南中学校	池嶋 正隆	小沢 優貴	11月24日（金）
出雲崎町立出雲崎中学校	佐藤 登	久保田ひとみ	10月30日（月）
新潟県立長岡向陵高等学校	早川 智	金子 将人	12月13日（火）

＜新規（2023・2024年度）＞

	校長	NIE 担当者	授業研修（授業公開）
糸魚川市立田沢小学校	浅野 一清	早川 尚美	12月1日（金）
佐渡市立小木小学校	高橋 高志	渡邊あずさ	11月16日（水）
新潟市立金津小学校	渡邊 敏尚	小林 雅代	11月29日（水）
阿賀野市立笹神中学校	石崎 晃一	丸山 温	11月28日（火）
新潟市立五十嵐中学校	斎藤 伸	山崎 行人	11月21日（水）
新潟県立糸魚川高等学校	早川 勝志	松田 彰英	12月19日（火）

## 新潟県 NIE を牽引する方々

＜NIE マイスター＞

川合 紀子 前糸魚川市立西海小学校 教諭

＜NIE アドバイザー＞ **日本新聞協会認定**

泉 実 上越市立保倉小学校 校長  
 柳澤 淳 上越市立雄志中学校 教頭  
 岡村 範雄 上越市立城東中学校 教諭  
 柳澤 一輝 上越教育事務所学校支援第一課 課長  
 山之内朋子 柏崎市立比角小学校 教頭  
 関 慎太郎 新潟大学附属長岡小学校 指導教諭  
 井上 北斗 小千谷市立小千谷中学校 教諭



若林 靖人	小千谷市立小千谷中学校 校長
高澤 元	新発田市立御免町小学校 教諭
海老名 崇	新発田市立第一中学校 教諭
猪股 快門	佐渡市立行谷小学校 教頭
古井丸 裕三	新潟市立曾根小学校 校長
生田 恵子	新潟市立東青山小学校 教頭
牛腸 昌克	新潟市立上所小学校 教諭
中村 康	新潟市立両川小学校 教諭
山本 達也	新潟大学附属新潟中学校 校長
佐藤 宏欣	新潟青陵高等学校 教頭
蟻塚 幸子	新潟県立新発田商業高等学校 教諭
押木 和子	新潟県立三条高等学校 教諭
早川 勝志	新潟県立糸魚川高等学校 校長



**<NIEリーダー> (旧実践委研究嘱校 NIE 担当者)**

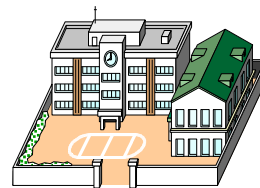
熊木 恵美子	上越市立三和中学校 教諭
星野 敬子	新発田市立御免町小学校 教諭
落合 悠太	新潟市立女池小学校 教諭
小黑 淳一	佐渡市立新穂中学校 教諭
中山 智美	阿賀町立三川小学校 教諭
新沢 耕輔	長岡市立南中学校 教諭
堀川 瑛里那	糸魚川市立糸魚川小学校 教諭
鈴木 真衣	聖籠町立山倉小学校 教諭
高橋 健一	新潟市立白根小学校 教諭
五島 拓	新潟第一高等学校 教諭



## 特色ある実践 - 新潟市 NIE 推進校 (2023) -

新潟市は「未来の新潟を担う子供たちが、活字に慣れ親しみ、現実と学びを結ぶ新聞を活用した学習を通して、確かな学力を身に付けるよう NIE を推進する」という趣旨のもと、今年度も下記の 16 校 (校長) を独自に NIE 推進校に指定し、活動を展開する。

北 区	南浜小学校 (阿部 勉)	早通中学校 (遠藤 禎)
東 区	東中野山小学校 (山本 政義)	東新潟中学校 (渡邊 昌彦)
中央区	有明台小学校 (白澤 陽子)	新潟柳都中学校 (阿部 修)
江南区	亀田東小学校 (竹田 暢美)	横越中学校 (倉澤 秀典)
秋葉区	矢代田小学校 (鷺尾 健仁)	
南 区	庄瀬小学校 (平出 靖)	白根北中学校 (小山 利幸)
西 区	立仏小学校 (滝澤 豊)	小針中学校 (逸見 東子)
西蒲区	鎧郷小学校 (坂井 純)	中之口中学校 (武田 正昭)
	西特別支援学校 (関原 一成)	



**<編集後記>**

新潟青陵大学の「現代社会とメディア I」の授業は、学生達による新聞スクラップの発表から始まる。ノート形式のもの、ワークシート形式のもの様々ではある。記事選択の理由・メインメッセージ (記者の意図)・感想や意見を 3~4 人のグループで交流する。自分の視点から考えを率直に述べ、それに応答するやり取りが心地よい。学生に尋ねたわけではない。尋ねたわけではないが、現代社会の諸問題に対する自分の見方や考え方は広がっているに違いない。

インターネットや SNS を介して、真偽の定まらない情報が飛び交う世の中である。安易なそれに踊らされることなく、新聞記事から事実と意見を読み取り、共感したり、批判したりしながら自分の考え練り上げていく。オーソドックスではあるが、こうした取組を大切にし、児童生徒一人一人の学力を高める NIE でありたい。 (事務局長：津野庄一郎)